



航路

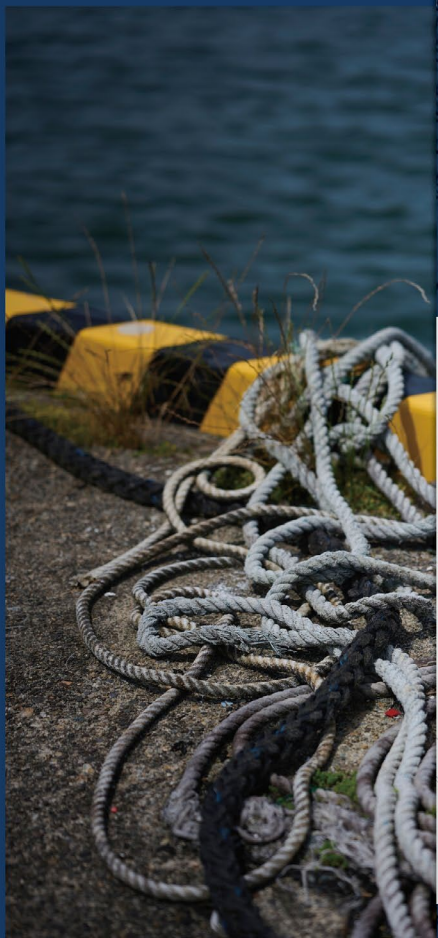
漕ぎ隠る見ゆ

SINMINA O

土地の時間が積み重なる路

記憶と日常が巡り

KORO
A PASSAGE where memory
and everyday life circulate,
and time gathers in place.
An ongoing art project editing
the relationship between self and town.



2026.9.12 sat — 14 mon

Venue | Shimminato Area, Imizu, Toyama Admission Free
Organized | Hamakaze KORO Executive Committee
Supported | AKAMA Toyama, Mandaraji

会場 富山県射水市新湊エリア—観覧無料

主催 浜風こうろ実行委員会 協力 AKAMA 富山 曼陀羅寺
問合せ hamakazekoro@gmail.com Instagram: @hamakazekoro

茶会

9.13[日] 17:00-18:30 14[月] 11:00-16:00
(最終受付:15:30)
水辺の民家ホテル カモメとウミネコ
(放生津町 19-18 内川沿い)
定員なし | 菓子なくなり次第終了 ●1000円

東洋のベニスと称される内川の景色や地域性を大切に考え、内川の持っているポテンシャルを高める一助となる茶会を催す。今回全体テーマ『コウロ』を軸にした展示内容。

島田晃吏／1979年生まれ。神戸市出身、京都在住。実業家。社業の鉄リサイクルの精神のもとに、茶会などを通して循環をテーマに社会と対話する。

新湊・内川は、古くは放生津と呼ばれ、室町期には文化人が集い、江戸期には海運と漁業で栄えた港町です。海と海を結ぶ内川の両岸には、家並みや路地、寺院が残り、今も豊かな日常の時間が流れています。

作品と街を巡る一日。『航路』では、空き家や曼陀羅寺など、町に点在する場所を展示会場としています。街を歩き、人や作品と出会うことで、観る人、地域、作家のあいだに、新たな関わりが始まることを目指します。昔の暮らしと今の暮らし、そして未来の暮らしが重なり、一つの路となる。私たちの歴史と思い、どこへ向かうのか。内川に古くもあり、新しくもある航路を描くことを願っています。

Shinminato Uchikawa district was once known as Hōjōzu. It attracted cultural figures during the Muromachi period and later flourished through maritime trade and fishing in the Edo period. Along the Uchikawa canal, which opens to the sea at both ends, old houses, narrow streets, and temples remain, while the rhythms of everyday life continue to unfold.

A day spent moving between artworks and the town. KŌRO / PASSAGE presents works in sites scattered throughout the area, including vacant houses and Mandaraji Temple. By walking through the town and encountering its people and artworks, we hope to open new relationships among visitors, the local community, and the artists.

Past, present, and future ways of life overlap, forming a passage. Where will our history and memories lead us? We hope to draw through Uchikawa a passage that is at once old and new.

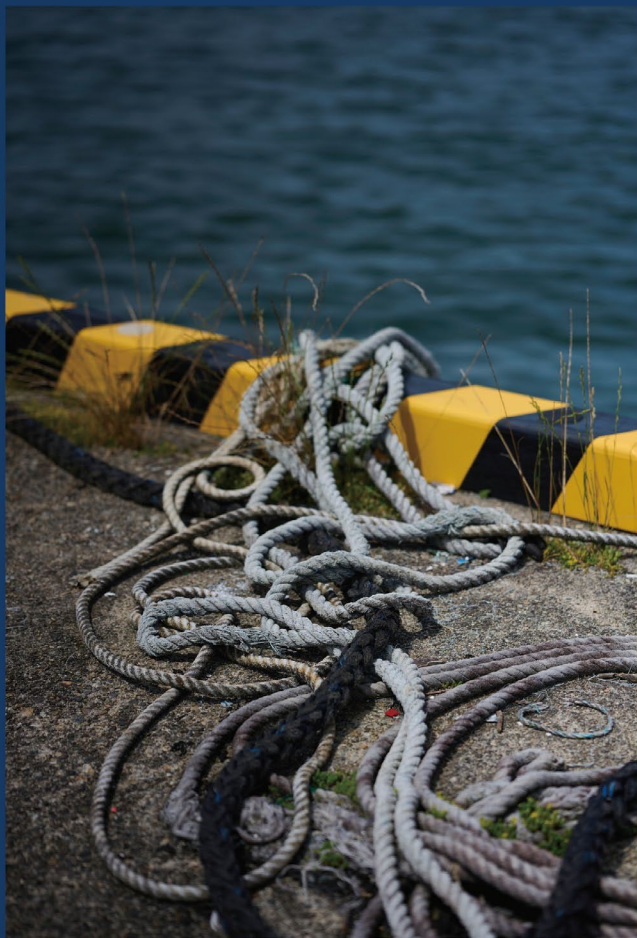
参加作家 ARTISTS

島田晃吏 Akisato Shimada 高野裕輔 Yusuke Takano
谷和彦 Kazuhiko Tani 谷口知美 Tomomi Taniguchi

A passage where memory
and everyday life circulate,
and time gathers in place.
An ongoing art project editing
the relationship between self and town.

KŌRO

記憶と日常が巡り 土地の時間が積み重なる路



帽子と上着

9.12[土] - 14[月] 10:00-17:00
AKAMA富山 裏手 (中央町 1-7)

ここはかつて食堂だった。木工を並べ、帽子と上着をかける。海から見た灯台やガス灯のようにホッとすると共に多少の期待を抱かせる。内川の営みのなかに木工と空間は馴染み、定食を注文するように帽子と木工に触れ合える。什器・設え協力／ワダヨシヒト

谷和彦／1978年生まれ。愛媛県出身、富山県在住。文化服装学院卒業。2010年、新潟で帽子屋「谷帽子」を始める。県内外での個展を中心に活動。日本各地で織られた布を帽子と洋服に仕立てている。

Instagram: @uwabatake @ojn_handmade_hut

谷口知美×曼陀羅寺

9.12[土] - 14[月] 10:00-17:00
曼陀羅寺 (立町 11-35)

2万年前の人類が遭遇したであろう、現生バイソンの祖先にあたる巨大なステップバイソンの復元模型がモチーフです。これを私は偶然見たのですが衝撃的でした。2万年前その巨体と異様な容姿の獣に草原で人類が遭遇した時、獣対獣として対峙したとき、とんでもない恐怖と畏怖の念を感じたに違いない。それは、現在のわれわれ人間に足りない大事な感覚なのではないか？

谷口知美／1984年、岡山県真庭市生まれ。2009年、沖縄県立芸術大学大学院修士課程日本画領域修了。メキシコへ滞在、会社員経験を経て2022年に作家活動を再開。日本画材を基礎とした平面作品と、粘土や木彫による立体表現の両面から表現を展開している。

Instagram: @pequenita_arte_



高野裕輔写真展『航路』

9.12[土] - 14[月] 10:00-19:00
大神楽 (中央町 1-1 内川沿いの大きな納屋)

人は変わることを望みながら、同時に変わらないことも望んでいる。新しい未来を求めながら、積み重ねてきた時間を失うことを恐れている。内川という街もまた、その矛盾を抱えながら長い時間を生き続けてきた。私はこの街を記録しようと思ったのではない。この街がどこへ向かおうとしているのかを知りたかった。その過程で、この場所を撮らなければならないと感じた。本展『航路』は、内川という場所を通して、人と街が進み続ける軌跡を見つめた記録である。

高野裕輔／1985年、富山県富山市生まれ。サンフランシスコ州立大学経営学部卒業後、2011年に高野写真館を継ぎ、写真制作を始める。「なぜ世界はこのような存在しているのか」を軸に、写真を記録ではなく世界へのアクセス方法として捉え、人と場所、時間の関係を観察・翻訳を試みている。2014年、第1回渋茶会にて作品展示 (以降、渋茶会・ゲキシブ茶会を毎年開催、作品展示)。2017・2018年、「fotofever」(Carrousel du Louvre, Paris) 作品展示。2020年、個展「ツギノ間」(ミュージックおおかカメラ館)。2024年「光顔」(K Contemporary) フロア展示。2025年、個展「三態」(スカランドリービルディング)。2026年、個展「三態II」(スカランドリービルディング)
Instagram: @y.takanoworks
https://tuskfoto.jp/yusuke-takano/



航路

漕ぎ隠る見ゆ

吉田昌美 スパイスカレーとコーヒー等のドリンク

9.12[土]・14[月] 11:00-16:00
松瀬さんの駐車場

ハンドメイドマルシェの運営と地域商品の企画・販売をしています。カレーが好きで、月に1回、新湊のイベントやシェアスペースでカレーを販売しています。

●やさしいスパイスカレー
ココナッツが香るクリーミーなカレーです。チキンと季節の野菜がたっぷり入っています。後味はピリッとした辛さが残ります。生姜とにんにくは不使用です。

●ドリンク
コーヒー/ハンドドリップで1杯ずつ丁寧に淹れています。手作りのハーブティや、ノンカフェインのハーバルコーヒーもご用意しています。

神戸屋 立町店 イベント限定フード・ドリンク

9.12[土]・13[日] 10:00- なくなり次第終了
立町 2-17

新湊の銀座といわれた「立町商店街」にある精肉店。和牛、県産、国産とこだわりの品揃え、お惣菜は昔ながらの味を守っています。日常の美味しいをすこし特別に。

●お肉のサンドイッチ
●ドリンク

歩き 出逢う 新たな姿

HOJOZUMACHI

- NEO SOUL
- 氣比住吉神社

水辺の民家ホテル カモメとウミネコ

- AKAMA 富山
- 内川茶房 月と兎
- 内川の家 奈呉
- 番屋カフェ
- 皇大神宮
- Sea Bell

AKAMA 富山 裏手

- みなとや製パン
- 円徳寺
- 浄蓮寺
- 魚源商店

CYUOMACHI

- 新町諏訪社
- 吉田昌美
- Cafe&BAR OWATOCO
- 中六蔵造元
- 秀峯
- 山二
- わかし
- らーめん虎次朗
- 笹寿司
- 達ちゃん

Google MAP



NAGONOURA JAPAN SEA

BOAT CAFE

- 川の駅新湊

- 魚間菓子舗

- 中川餅店

- スナック・クリスタル

- 麵処 スパロー

- 兄妹焼肉 辛子家

- 小舟すし

- 曼陀羅寺

- 小舟すし

- 小舟すし

- 小舟すし

- 小舟すし

宿泊施設

AKAMA 富山

水辺の民家ホテル カモメとウミネコ

内川の家 奈呉

古民家宿 禅楽

山二

新湊・内川では、受け継がれてきた街並や暮らしの価値を見つめ、これからの日常へ生かそうとする動きが広がっています。空き家や古い商家・倉庫は、飲食店や宿として新たな役割を持ち、地域で育った若者や、Uターン・移住した人々、長く町を支えてきた壮年世代が、それぞれの経験や技術を持ち寄り、商い、文化活動や表現の場づくり、清掃や祭りの継承などに取り組んでいます。

こうした活動は、新しいものを外から持ち込んだだけではありません。水辺の風景、路地のつながり、漁業や商いの記憶、日々の人の往来など、身近すぎて見過ごされてきたものを、町の内外の視点によって改めて掘り起こす試みでもあります。「航路」もまた、波間に見え隠れする小舟のように、土地に積み重なった記憶を浮かび上がらせ、見慣れた風景に新たな輪郭を与えます。建物や習慣をそのまま保存するだけではなく、いまの暮らしの形へと受け渡していく。新湊・内川ではいま、世代や立場を越えた街の姿が静かに形づくられています。

アクセス

小杉駅から 約35分 あいの風とやま鉄道 小杉駅南口→きとときバス⑦「新湊・小杉線」→かぐら橋口→徒歩1分。(小杉駅から1時間毎に6~15便。平日欠便あり)

富山市から 約40分 富山市中心部→国道8号・国道472号方面→新湊。(小杉ICから約20分)

金沢市から 約60分 金沢市中心部→北陸自動車道金沢東IC→小杉IC→新湊。(9/12・13ETC休日割引適用あり)

無料駐車場のご案内

左記②の駐車場を無料でご利用できます。川の駅新湊第2駐車場/川の駅新湊第1駐車場/山王町公園臨時駐車場/奈呉町駐車場



2026.9.12 sat - 14 mon

Venue | Shiminato Area, Jimzu, Toyama Admission Free
Organized | Hamakaze KORO Executive Committee
Supported | AKAMA Toyama, Mandaraji

会場 | 富山県射水市新湊エリア—観覧無料

主催 | 浜風こうろ実行委員会 協力 | AKAMA 富山 曼陀羅寺
問合せ | hamakazekoro@gmail.com Instagram: @hamakazekoro